



「令和7年度北九州DX大賞 優秀賞」を受賞！

伝統製法×最先端技術の融合で、次世代のモノづくりを体現



シャボン玉石けん株式会社 代表取締役社長 森田隼人(右)

無添加石けんのパイオニアであるシャボン玉石けん株式会社(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:森田 隼人)は、北九州市が主催する「令和7年度北九州DX大賞」において、優秀賞を受賞いたしました。

同賞はデジタル技術の活用により新たな価値創造や課題解決を実現し、地域経済へ好影響を与える企業を表彰するもので、3月26日(木)に北九州市内で授賞式が開催されました。シャボン玉石けんは、職人の「五感」による伝統技法をデータ化し継承する取り組みや、自社開発の低コストなIoTデバイスによる電力計測と、それに基づいた設備更新によるGX(グリーントランスフォーメーション)の取り組みが、「伝統的なモノづくりとデジタル技術の融合」として高く評価いただきました。今後も、積み上げてきた技術と新たなデジタル技術を融合させ、未来を見据えた「健康な体ときれいな水を守る。」モノづくりに邁進してまいります。

※無添加:香料・着色料・酸化防止剤・合成界面活性剤等不使用の無添加石けん

■ 受賞の背景と評価された主な取組

1. 職人技術とデジタルの融合(スマートファクトリーの推進)

- ・釜炊き職人の五感による「ケン化法」のデータ化、継承に向けた共同研究
- ・AIスケジューラーの開発による生産計画の最適化、属人化解消への挑戦

2. GXの推進

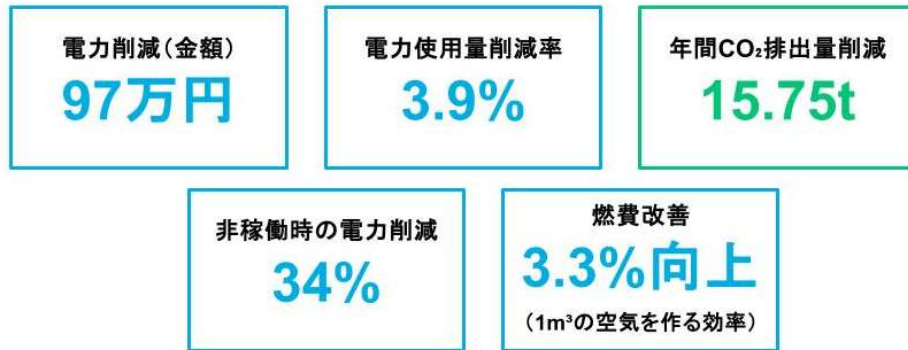
- ・本社工場の100%再生エネルギー化
- ・自社開発の電力監視の仕組みによる省エネルギー活動
- ・レギュラー商品のCFP(カーボンフットプリント)算出

3. 安全衛生と地域連携としてのDX

- ・スマートウォッチを活用した現場の安全管理
- ・北九州市のIoT実践研究会を通じたオープンソースとして公開

DXによるデータ活用がもたらした成果

自社開発のデバイスで計測・可視化したデータに基づき、老朽化したコンプレッサーを最適な省エネモデルへ更新。その結果、年間※で97万円の電力コスト削減（および相応のCO2排出量削減）を達成しました。インシャルコストに捉われず、データ裏付けのある「攻めの省エネ投資」が、具体的な成果として表れています。



※2024年～2025年での評価

■ 2023年4月からの歩み スマートファクトリー化の本格推進

弊社は2021年より工場DXの専門チームを発足させ、ネットワーク構築やIoT共同研究を重ねてまいりました。これらを一過性の取り組みに終わらせず、経営の柱とするべく2023年4月に「SF推進課」として正式に組織化。北九州市のDX補助金を活用しながら、本格的なスマートファクトリー化を推進しています。

■ 北九州DX大賞とは

北九州市が主催し、デジタル技術を活用してビジネスモデルの変革や、地域課題の解決に取り組む優れた企業を表彰する制度です。地域全体のDX機運を醸成し、産業の競争力強化と持続的な発展を図ることを目的としています。



健康な体ときれいな水を守る。

シャボン玉石けん



1910年に雑貨商として創業し、1974年から「健康な体ときれいな水を守る。」という企業理念のもと、人にも自然にもやさしい無添加石けんの製造・販売を行っています。昔ながらの釜炊き製法で職人がじっくり丁寧に作る石けんは、天然の保湿成分を含み、しっとりとした洗い上がりが特長です。

シャボン玉石けんのイメージキャラクター・シャボンちゃん。

1975年4月生まれの子で、赤いリボンがチャームポイント。

先代社長・森田光徳が当時0歳だった娘の笑顔を見て、「屈託のない赤ん坊の笑みは、世代を問わずみんなを“とりこ”にする。いつの時代にも愛される存在=赤ちゃん」という思いから赤ちゃんをモチーフにしたシャボンちゃんが生まれました。

【報道関係者からの問い合わせ先】

シャボン玉石けん東京広報事務局

担当(TEL): 影山(080-5916-9341) / 木村(080-5471-6062)

FAX: 03-3265-5058 / E-mail: shabon@ozma.co.jp

【本イベントについての消費者からの問い合わせ先】

シャボン玉石けん株式会社 TEL: 0120-4800-95

(平日 8:30~17:30、土曜・日曜・祝日は休業)

www.shabon.com